

事例 9

雄物川に係わる学習授業

DATA
 場所：秋田県雄物川下流(距離標32km右岸、いかだ下り出発点)
 実施者：秋田工事事務所 地域づくり推進室 [TEL(018)823-4167]
 参加者：雄和町立戸米川小学校3～6年生 63名
 実施日：平成13年7月10日
 学習時間：2時間

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

秋田県では、子供たちが企画する学校活動に支援(補助)するドリーム事業を実施しています。雄和町立戸米川小学校では、町の観光協会が主催する「雄物川のいかだ下り大会」で、子供たちが雄物川をいかだで下るため、一部の子供たちから事前に雄物川について学習したいとの要望が校内でありました。秋田工事事務所のホームページを教諭が検索したところ、「総合的な学習の時間へのサポート」について情報を得て、以下の「雄物川に係わる学習授業」を開催したものです。

内容

最初に川のはたらきや川に生息する生き物についての説明がありました。次に、雄物川の流れや全体的な景観について理解するための説明(地形特性や現地の水深・流速・流量・棲息する動植物等について)がありました。実習として、現地での水生生物調査が行われ、さらに水温・pH・COD・DOについて子供たち自らが簡易測定試薬を用いて学習しました。最後に、川へ遊びに行くときの留意事項の説明などについて学習しました。



河口までの写真による説明



川の生物を採取する



簡易測定試薬を用いて実験



川にすむ生物種・水質状況を観察する

成果

当日、6年生の児童が雄物川の特長や生物、水質について現地で学習し、興味を持って取り組んでいました。さらに、この学習会の成果をこれからの学習に役立てたいとの発言が得られました。また、後日、児童らから有意義な体験学習だったとの感想文が寄せられました。

参加者の声

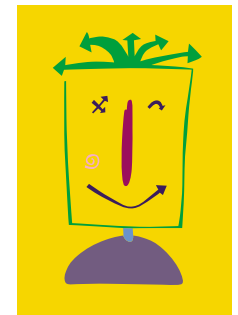
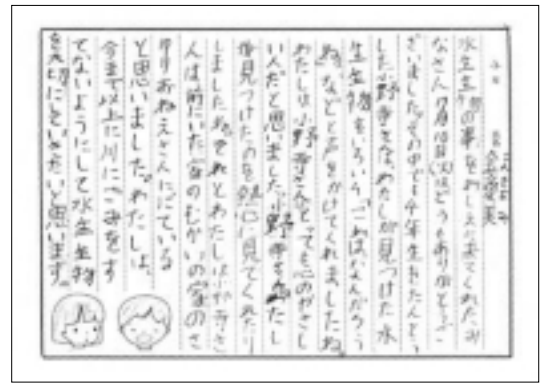
「今まで以上に川にごみを捨てないようにして、水生生物を大切にしていきたいと思いました。」
 (雄和町立戸米川小学校 4年生)

「水生生物に興味を持ち、川を好きになることができました。」
 (雄和町立戸米川小学校 5年生)

「雄物川や水生生物についていろいろ教えていただきありがとうございました。みそ汁の残りや油などをむやみに捨ててはいけないと改めて実感しました。」
 (雄和町立戸米川小学校 6年生)



参加した児童から寄せられた作文



秋田工事事務所発行の広報で紹介

ポイント

- 自分たちの手で水質調査を行うことにより、川の状態を見つめ直し、また、管理の大切さを実感できます。
- 水生生物と川の状態の関わりを学習し、継続して興味をもって取り組める内容としています。

次のステップに向けて
 ●川の状態をこれからも良くするための取り組みなど、環境保全に発展させた学習も考えられます。